

「さぬきの森」について

その昔、日本各地に残る里山は、地域住民の日常生活や農業をはじめとする伝統的な産業との関わりの中で、重要な資源として管理・利用されてきました。また里山は、地域住民にとって身近な森林だけでなく、特有の生態系が維持されてきた希少な森林でもあります。

国営讃岐まんのう公園では、園内に残された里山を「さぬきの森」と名付け、讃岐地方の里山が育んできた自然環境の保全と文化の伝承に取り組み、来園者の皆様に里山がもつ様々な魅力を提供していきます。

「さぬきの森」での活動内容

■ ガイドウォーク ■

「さぬきの森」の自然に精通したインタープリターの案内により、「さぬきの森」の自然について見たりさわったり、五感を通して感じる「自然観察・自然体験」を行っています。



■ 森づくり活動 ■

「さぬきの森」においては、「市民協働による讃岐らしい里山再生」をテーマとし、森づくり（整備・保全・森林利活用）を自立的に実施する市民協働のボランティア活動を中心に、下記のような森の活用と保全活動を推進しています。

- 草刈や除伐・間伐、枯損木・危険木の除去
- 森林作業に必要な技能向上を目的とした講習会
- 森林作業上の危険予防に関する勉強会
- 森を利用したイベント・遊びのための技能向上
- 森の生物観察と保全方法の習得
- 森で採れる食材を使った料理



こうした活動を通じて、自然の中での里山文化体験や野外レクリエーションの場を創出し、健康づくりや観光振興への貢献を図りつつ、生物多様性を育む地域の自然環境の保全と再生に取り組んでいます。



■ 森林体験イベント ■

「さぬきの森」では来園者の皆様に、四季を通じて森を楽しむ里山ならではの多様な楽しみを、年齢や興味に応じて提供しています。

- 4月～5月：山菜採りと山菜料理、茶摘みと製茶教室
- 7月～8月：生物観察、キノコのほだ木につくカブトムシ・クワガタ等の観察、流しそうめん大会
- 10月～11月：キノコ収穫、パーベキュー、森で採れた果実による収穫祭
- 1月～2月：キノコ菌打ち、巣箱作り、マイツリー（樹名板作り）、鍋大会

*イベント内容は年により変更される可能性があります。

公園へのアクセス



● 車 / 広島・岡山方面から瀬戸中央自動車道坂出 I.C. より約35分 ● 愛媛・高知方面から / 高松自動車道・普通寺 I.C. より約25分 ● 徳島方面から / 徳島自動車道・美馬 I.C. より約40分

拡大図



● 鉄道 / JR 琴平駅、琴電琴平駅、岡田駅よりタクシーにて約 15分
● バス / 琴平駅前より「美合線(美合、三角、落合橋、川奥行き)乗車」まんのう公園口にて下車、徒歩約 30分

「さぬきの森」でのお願い

- タバコのポイ捨て禁止
タバコは、山火事の原因となるので、喫煙は指定の場所をお願いします。
- ゴミの持ち帰り
全てのゴミは持ち帰りましょう。
- 動植物の保護
森林を汚さない、荒らさない行動を心がけ、散策路と観察場所以外にはむやみに立ち入らないようにしましょう。
- ペット類を連れてのご入園はご遠慮下さい。

「さぬきの森」の危険な生物

- ハチ
夏～秋はハチの活動時期のため、ハチに刺される被害が増えます。スズメバチやアシナガバチに刺されるとアレルギー反応により死亡することもあります。ハチが周囲に飛び始めたら、急な動きなどせず、静かに避難しましょう。
- ケムシ類
ドクガやイラガ等の幼虫に触れると、炎症を起こし痛みやかゆみ等の症状がでます。被害を避けるため肌を露出しないようにしましょう。
- ウルシ類
ウルシ類に触れると、ひどくかぶれる可能性があります。手や顔が触れないように気をつけましょう。
- ノイバラやススキ類
ノイバラやキイチゴ類はトゲのあるものが多く、ススキ等のイネ科の植物は葉の縁で手を切ったりします。これらに触れないように肌の露出を避けましょう。

お問い合わせ

国営讃岐まんのう公園 自然生態園 TEL (0877) 79-1807
〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12 FAX (0877) 79-1704

●まんのう公園ホームページ …… <https://sanukimannopark.jp/>

さぬきの森

市民協働により自然環境の保全・再生とレクリエーション利用を両立



国土交通省

国営讃岐まんのう公園

さぬきの森探索MAP

ボランティア活動



NPO 法人、森林整備・保全の活動を行うボランティア団体、大学・学識者、地元老人クラブ、企業、自然環境保護団体等の多様な市民により、森づくりが行われています。今後も、森づくりに意欲を持つ皆様の新たな参加をお待ちしています。

木霊の森
展望スポット

入退園申請エリア
入退園申請エリアへの立入はガイドの同行が必要となります。自然生態園事務室にお申込み下さい。
☎(0877) 79-1807

まめ 動物知識



■カスミサンショウウオ
体長約 10cm。西日本を代表する止水性サンショウウオです。丘陵地の二次林と水田付近に生息し、湧水と湧水周囲の雑木林の存在が生息の必要条件です。夜行性で、昼間は石や落ち葉の下に隠れて休んでいます。

■サンコウチョウ
日本や台湾、フィリピンに分布し、日本には夏に渡来し繁殖します。全長は雄が約 45cm、雌が約 18cm。繁殖期の雄は、体長の3倍ぐらいの長い尾羽を持ちます。平地から低山にかけての暗い林に生息し、樹上の細枝にスギやヒノキの樹皮を用いたカップ型の巣を作ります。

まめ 植物知識

■オンツツジ
暖地の林縁に生える落葉低木で、樹高2~5mになります。葉の展開前あるいは展開と同時に開花し、1個の花芽から1個~3個の花を開き、花は直径4~5cmの朱色の漏斗形です。
写真提供:奥田 重俊氏

■ヤブムラサキ
ヤブムラサキは宮城県以南の暖地に生育する落葉低木です。初夏に星状花を咲かせ、秋にはガクの中から紫色の美しい果実が出てきますが、葉の裏に隠れて目立ちにくいです。
写真提供:奥田 重俊氏

■アセビ
本州、四国、九州の山地に生ずる常緑樹。やや乾燥した環境を好み、樹高は15mから4mほどです。葉は楕円形で深緑、表面につやがあり、枝先に密生します。早春になると枝先に複雑な花序を垂らし、多くの白いつぼ状の花をつけます。果実は扁球形になります。有毒植物であり、葉を煎じて殺虫剤とします。
写真提供:奥田 重俊氏

■コバノガマズミ
葉の形には変異があり、時と場合により区別しにくい場合があります。葉はこの中間と合葉状であり、葉柄がごく短くしては小型であり、葉柄がごく短い特徴があります。両面に短い毛が生じており、ピロロド感の手触りがあります。4月から5月にかけて白い花を咲かせます。花冠は5裂し、雄しべは5本。秋には赤い果実を付けます。
写真提供:奥田 重俊氏



- 見どころ
- サイクリングコース
- 位置確認サイン (現地に設置しております)
- 案内所
- 非常電話
- 駐車場
- トイレ
- 多目的トイレ
- 自転車置き場
- 身障者用駐車場
- 展望スポット
- 健脚コース (急な上り下りのあるコース)
- 入退園申請エリア入口
- 駐車場
- 展望ポイント



緊急連絡先
自然生態園事務室
☎(0877) 79-1807

森を知るために...

『さぬきの森』では、3つの物語が展開しています。

- 山の戦国物語**
11~16 植物遷移の説明
この山のさまざまな環境下で展開している樹木たちの国とり合戦のようすをお話します。
- 山の恵みの物語**
11~16 山と人の関わり
山は人間にさまざまな恵みを与えてくれ、人間も、山の恵みを上手に使ってきました。そんな山の自然と人間のふれあいをお話します。
- 山のヒョッコリ物語**
11~16 貴重な植物の説明
山を歩くと、ヒョッコリと出でくる樹木に出会うことがあります。そんなヒョッコリの仲間をご紹介します。

自然生態園事務室にて双眼鏡を貸し出しています。



満濃池が見えます。双眼鏡有
見はらしの山展望台

展望スポット

アカマツ林 マツタケとれるかな?

立派なヨシイ(ツブラジイ)の太木

里山林の象徴であるヨナラ林を横から観察してね。

ヤマザクラ太木
4月にサクラが咲き乱れます。

葉隠れ峠

センターハウス

天の広場

自然生態園

自然生態観察園

自然生態展示館

逆縁池

北の谷

南の台地

南の谷

自然生態園事務室にて双眼鏡を貸し出しています。

満濃池が見えます。双眼鏡有
見はらしの山展望台

展望スポット